

たくみ 知られざる匠の技 神社建築を守り伝える人々

平成22年7月25日（日）午後1時半より

場所 春日大社内 “感謝・共生の館” ほか

奈良には全国で最多の国宝・重要文化財の建造物があります。そして春日大社の建造物は、国宝4棟・重要文化財27棟・市指定文化財2棟の建物があります。これら建物の多くは、奈良時代の創建当時より多くの匠の人々により守り伝えられ今日に至っています。

今回の第60次式年造替では、46年ぶりとなる一ノ鳥居の全解体修理をはじめ、重要文化財の車舎・直会殿の保存修理が完了し、引き続き着到殿などの建物の修理に取りかかる予定です。今次の工事においても多くの匠たちの優れた技が発揮され、そのいのちを保ち後世に伝えています。

今講座では、匠たちの知られざる技術伝承について実物の建物を巡り、わかり易くお話しします。

日程 7月25日（日）

午後 1時 受付開始（感謝・共生の館）
1時半 中村権禰宜による講話
3時 休憩・移動
3時半 修理建造物拝観
4時 終了・解散（予定）

※事情により予定変更することがあります。



重要文化財直会殿の栓皮屋根葺替

※ 参加費 1,000 円を当日受付にてお納めください。

※ ご参加の方は電車・バスをご利用ください（駐車場は別途料金が必要です）

お申し込みはFAX・お問い合わせは電話にて

〒630-8212 奈良市春日野町 160 春日大社 広報研修部 （担当、今井）

☎0742-22-7788 FAX 27-2114